

2024年(令和6年)6月オホーツク管内倒産集計

令和6年7月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

年初から発生続く 累積件数・金額ともに前年比増

発生件数1件、負債総額3,600万円

| | | |
|----------|---------------|----------|
| ■前月比件数 | 同数(2024年5月) | 1件) |
| 負債総額 | 6万円増加(| 3,594万円) |
| <hr/> | | |
| ■前年同月比件数 | 1件増加(2023年6月) | 0件) |
| 負債総額 | 3,600万円増加(| 0円) |

2024年6月の発生状況

2024年6月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生1件、負債総額3,600万円。前月と比較し件数は同数、負債総額は微増。前年同月は発生がなかった。発生企業は遠軽町のハイヤー運営会社。平成30年3月期には6,000万円内外の売上を計上していたが、新型コロナウイルス禍において利用者が激減し令和5年3月期は年商3,000万円の水準まで減少。車両台数3台で運営を行っていたものの、コロナ5類移行後も業績回復には至らず、運転手不足も重なって今回の措置となった。

直近5ヶ年の6月の発生状況は19年5件、20年0件、21年1件、22年1件、23年0件の推移で、平均発生件数は1.4件、同負債総額は1億2,851万円。今年は平均値を下回った。

2024年1～6月の発生推移

過去5年間の1～6月の発生推移は【右・表】の通り。平均発生件数は6.2件。同負債総額は7億1,126万円。

今年は前年、前々年と比較して件数・負債額ともに増加。過去5ヶ年の中では19年、20年に次ぐ負債総額の水準となっている。

過去5年間と今年1～6月の件数・負債額

| 年 別 | 件 数 | 負 債 額 |
|-------|-----|------------|
| 2019年 | 9件 | 11億4,400万円 |
| 2020年 | 7件 | 11億8,600万円 |
| 2021年 | 8件 | 8億2,100万円 |
| 2022年 | 1件 | 2,356万円 |
| 2023年 | 6件 | 3億8,175万円 |
| 2024年 | 8件 | 9億7,014万円 |

今後の見通しと問題点

国内全体では、個人消費やインバウンドを中心とした観光産業で活発な動きが見られる一方、エネルギー・原材料価格の高止まりや人手不足、さらには輸送コストや人件費の増加など各企業におけるマイナス要素の根は深く、収益確保が難しい局面を迎えている。また、2024年問題による様々な影響、日銀のマイナス金利解除や円安基調による為替相場の動向が中小事業者にどのような影響を及ぼすのか、先行き不透明感が高まっている。

オホーツク管内は年初から6か月連続で倒産が発生するなど重苦しい雰囲気漂う。運送・建設業界などでは時間外労働の上限規制や人手不足の影響が深刻化。人材確保に向けた様々な動きが見られるもののその効果は薄く、苦戦に喘ぐ事業者の声が多く聞かれる。昨年5月のコロナ5類移行後は地域における景気回復への気運が高まっているものの、未だコロナの後遺症で苦しむ事業者も多く、今後も厳しい情勢が続く見通しだ。

